

平戸梶包運送



「兵庫」近、中距離の引っ越しを展開する平戸梶包運送(平戸伸和社長、神戸市中央区)では、多様な人材の採用活動に注力。「引越し業界へのハードルを下げる」ための募集に取り組んでいます。8月末から求人専用サイトを作成

イトを開設し、「あいさつ」「はい」「いいえ」が言えればOK」と従来とは視点を変えた募集要項を作った。サイトは同社の引越し事業を担うヒカリ引越しセンター(同)のドライバー募集のと実際の引越し業務との間に

つ越しをといえども元気で筋力必要と一般には思われておとなしい人はそれだけ敬遠しがち。しかし、おとなしくても引越し業務は勤められるし、筋力も仕事

をこなしていくうちに付けたために作成。平戸社長は「引っ越しといえども元気で筋力が必要と一般には思われておとなしい人はそれだけ敬遠しがち。しかし、おとなしくても引越し業務は勤められるし、筋力も仕事

をこなしていくうちに付けたために作成。平戸社長は「引っ越しといえども元気で筋力が必要と一般には思われておとなしい人はそれだけ敬遠しがち。しかし、おとなしくても引越し業務は勤められるし、筋力も仕事

引越し業界「ハードル」下げ

られる。「マッヂョ」でなくとも入れる業界なので、恐れることなく来て欲しい」とアピールしたかった」と説明する。

仕事をこなしていけると日々の業務で確信している」

社内の団結力を深めるため、今後はイベントやレクリエーション活動も検討している。平戸氏は社内でのゲーム大会をやってみたい

と言ふ。「ゲーム機なども社で負担する。業務外の活動を通して一層結束を深められる。できるところから投資し、社内を盛り上げたい」

求人専用サイト開設

野に入れる。「週4日引越し作業をして、残り1日で動画を編集。宣伝・PRを担わせたい。業界のことを広く知つてもらうため、様々な取り組みを考えている」(黒須晃)